

## **(株)バンダイナムコエンターテインメント最高顧問・中村雅哉氏の訃報に接して**

去る1月30日、株式会社バンダイナムコホールディングスより、同社最高顧問 中村雅哉さんの訃報が発表されました。

中村雅哉さんは、昭和30年に有限会社中村製作所を設立され、今日のバンダイナムコグループの礎を築かれました。旧株式会社ナムコ時代に、『パックマン』（昭和55年）や『ゼビウス』（昭和58年）を始めとする多くのデジタルゲームを発表され、私たちにデジタルゲームの夢と楽しさと感動を届けてくださいました。黎明期にあった日本のデジタルゲーム産業を牽引され、黄金期を築かれたキーマンのおひとりです。

デジタルゲームに登場するキャラクターは私たちの記憶に長く留まりますが、ゲームビジネスに携わった方々のお名前が公表されることは稀です。しかしながら、長きにわたって日本のデジタルゲーム産業の発展に尽くされた中村雅哉さんの存在を、私たちは忘れることは出来ません。

中村雅哉さんが亡くなられたのは1月22日の早朝でした。奇しくも私たちが、「あそぶ！ゲーム展 ステージ2 ゲームセンターVS ファミコン」の関連イベント「ゼビウスチャンピオンシップ」を開催した日の翌日です。チャンピオンシップは、30年前にゼビウスをプレイしていた48歳の伝説のプレイヤーと、ゼビウス発売当時はまだ生まれていなかった19歳の青年との決勝戦となりました。そして、激戦を制し、青年が優勝盾を手にししました。この結果を見て、私たちは、年月を越えて楽しまれ続けるデジタルゲームの永遠の魅力を再認識したばかりでした。

中村雅哉さんは、新進気鋭のクリエイターの皆さんが『ゼビウス』の開発にチャレンジされる姿を暖かく見守っていらっしゃったと伺っております。デジタルゲームの歴史に一時代を画した『ゼビウス』は、中村雅哉さんの存在無くして誕生しえなかったとも言えるのではないのでしょうか。

中村雅哉さんのご逝去の報に接し、私たちは、中村雅哉さんのご冥福を心より祈念申し上げるとともに、中村雅哉さんが敷かれたレールをさらに延伸して、日本のデジタルゲーム文化を一層豊かにするために微力ながら尽力する決意であります。

平成29年2月21日

「あそぶ！ゲーム展：ステージ2 ゲームセンターVS ファミコン」

主催・企画・監修 一同